

生涯学習マナビ通信 No.4

消防署の出前講座「普通救命講習」より「一人でも多くの命を救うための取り組み」



今回は、消防署の出前講座「普通救命講習」や消防署のお仕事のあれこれについて、日ごろ、疑問に思っていることを消防署の救命救助係さんにお聞きしました！

★例年、出前講座の依頼がトップです。年間 91 回（令和 2 年は 52 回）もあると、スケジュールのやり繰りが大変ではないですか？

消防署：消防署に働く職員全員が応急手当指導員の資格を持っており、救急救命士と共に多くの職員で対応にあたっています。

★救命講習を受講した方で最多の受講回数は何回くらいの方がいますか？ また、何回も受講しても大丈夫ですか？（自分は職場等含めて 4 回くらいです）

消防署：最多受講回数の正確な回数は把握しきれないのですが、毎年受講される方も多くいらっしゃいます。5 年ごとにやり方も変わりますので何回受講してもらっても大丈夫です。

★現場で突然、命の危険な場面に直面した場合、気がすくんでしまう気がしますが、気持ちの持ち方など、どのように対処したらよいですか？

消防署：何もしないと命が助かる可能性はなくなってしまいます。たとえ少しやり方が間違っただとしても、何かをすることによって助かる命があると思って欲しいです。

★消防署の皆さんは、やはりメンタルがタフなんですか？

消防署：特に特別なメンタルではありません。助けを求める人のためにすべてを前向きに考え頑張っています。

★消防署の皆さんは多くの命を救うために、ルーティンや何かしていることはありますか？（訓練、ゲン担ぎ、占い・おまじない、心がけ等）

消防署：訓練、知識の習得、休息、体調管理、あとは人を助けることができると自己暗示。

★救急隊員はどうしても体力的な面から男性職場とイメージしてしまいますが、救急隊員は全何名で、女性は何名いますか？

消防署：救急隊員として任命されているのは 56 人で、うち 1 名が女性隊員で活動しています。

★忙しい救急隊員さんの既婚と独身の割合はいかがですか？正直、出会いとかはいかがですか？

消防署：救急隊を任命されている職員の既婚率は概ね 7 割です。ほとんど男性の職場で、他の消防署も男性が多くなかなか出会いの機会はないです…

★今年度から、ジュニア救命講習がスタートしましたが、申込状況はいかがですか？

消防署：コロナ禍で、なかなか大人数が集う講習が難しい状況ではありますが、人数が少ない学年の学校で開催の予定が入っています。

→夏休みの子供会や PTA 行事などでも利用できますね♪



インタビュー：救命救助係 紺野さん

★最後に、救急救命士になろうと思ったのはなぜですか？ きっかけや出来事がありますか？

消防署：消防士の仕事の大前提は人の命を救うということ、災害では様々なエキスパートが必要です。その中で助けられた後の人に接し、病院に行くまでに命をつなぐエキスパートになりたいと思い救急現場に行き、中でも失ってしまうかもしれない命を救うことが出来る救急救命士になりたいと思いました。

消防署からの
お知らせ

年間で心肺停止から救命に至る救急現場は数件あります。その陰には、救急車が到着するまでに心肺蘇生法が施されていればもしかすると助かっていたのでは、という現場もあります。一度講習を受講してもらえたら、それほど難しいものではないと思います。万が一そのような場面に遭遇した場合に手を差しのべられる勇気のちょっとしたきっかけにさせていただけたらと思っています。ぜひ気軽に、救命講習に足を運んでいただけたらと思います。

<お仕事のーコマ>



<参 考>

【年間最多救急出動件数】 3397 件（令和元年）

平成30年から令和2年までで、完全に社会復帰できた心肺停止救急事例は5件あり、そのうち2件は救命講習受講者が心肺蘇生法を実施していました。

今回は、ひた向きに命に向き合う消防署のお仕事のあれこれについて、消防署さんに教えていただきました！ 引き続き、市民の命を救う救命活動の普及について、ご協力をよろしくお願いします。

《編集・発行》

生涯学習推進本部

事務局 生涯学習課 内線 5642